

ざっくり
黙示録

④

教会の携挙 天上の礼拝

黙示録4～5章

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

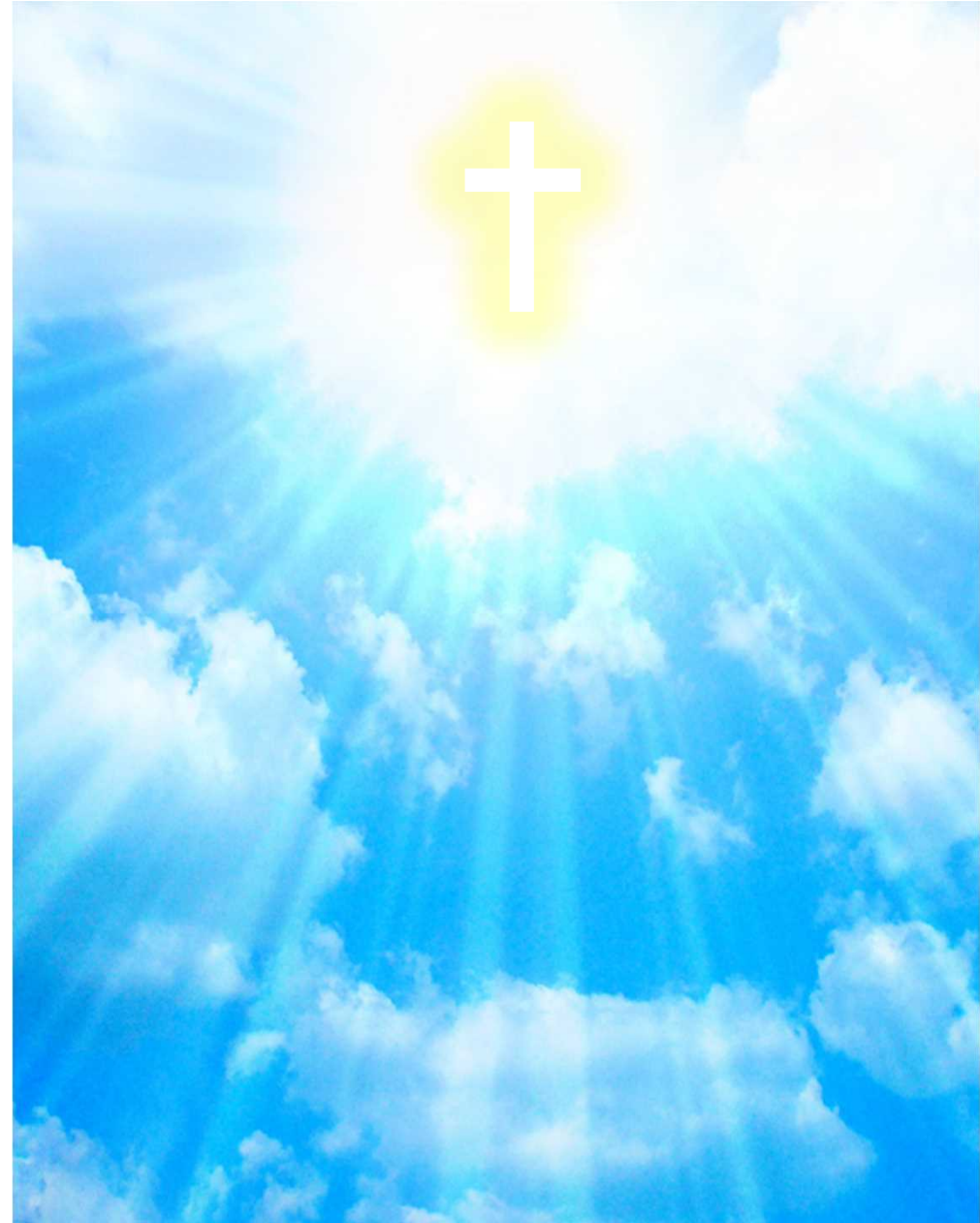
I. 教会の携挙

II. キリストの御座の裁き
キリストとの婚姻

III. 天上の礼拝

IV. まとめと適用

主の来られる日を待ち望みつつ
永遠の宝を天に積もう



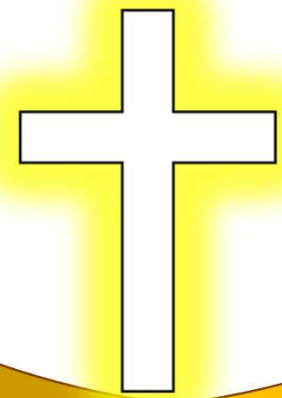
0. 聖書の記す世界観・終末観



【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】

天地創造
人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活



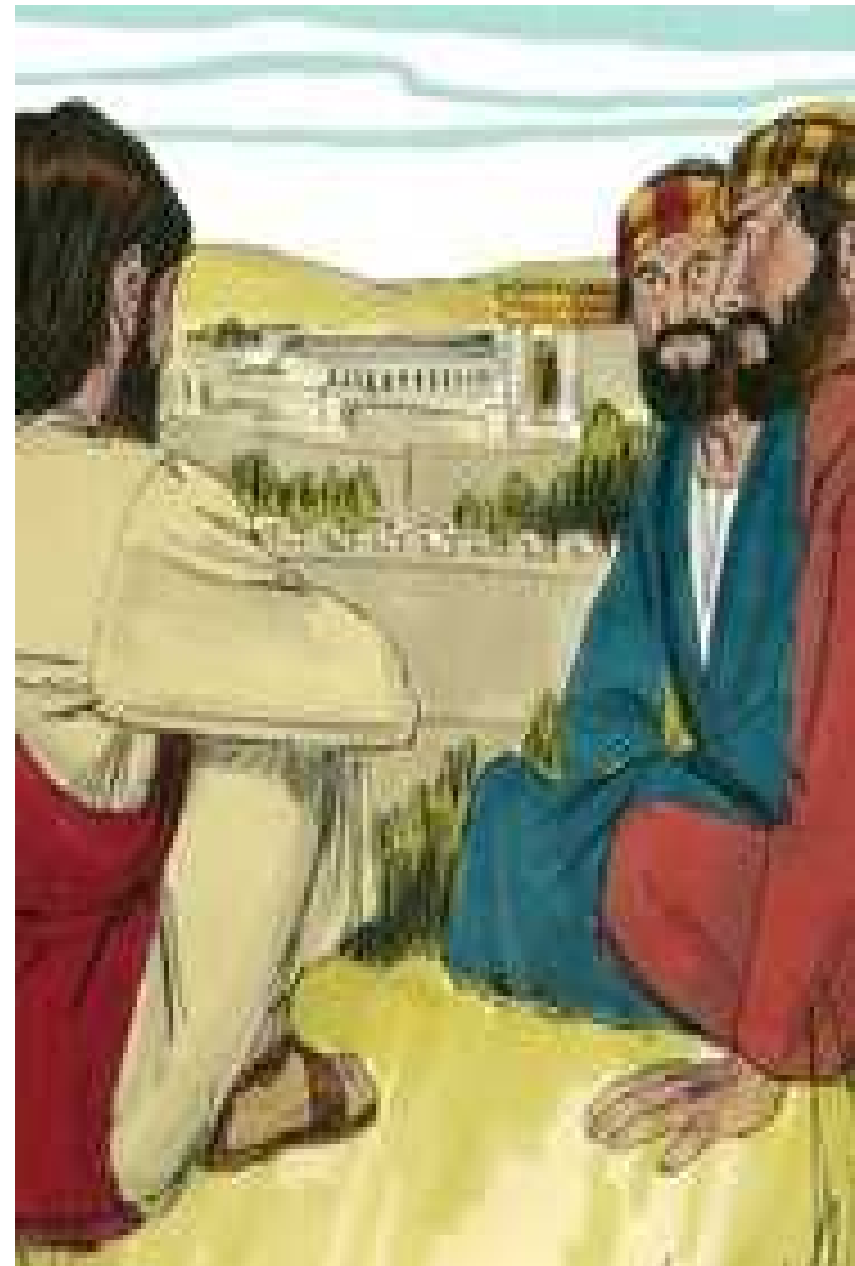
これから起きること

今の時代(教会時代)

～ゴールは、世界の回復。理想世界の実現～

【聖書が教える今の時代とは？】

- イエスは、十字架の死と復活によって、悪魔に勝利したが、まだ正式に、地上の王になっていない。
- 悪魔が地上を不法占拠している状況。
- 世の中は、悪くなっていく一方。
「方々で戦争が起こり、偽キリストが大勢現れる。」
イエスの警告(マタイ24:5～6)



【聖書の終末観の原則】

- 人は、ただ、イエスを救い主と信じて救われる。
- 全ての人に、救いの手が差し伸べられている。
⇒ 応答した人は、その瞬間に救われる。
- 世界の回復は、再臨のイエスがなされる。
⇒ それがいつかは、誰も分からない。
- 人間の努力で、終末が早まることはない。



【なぜイエスは、すぐに来ないのか？】

- 再臨のイエスは、王の王として、「裁き主」として来る。
- その時、あらゆる悪は裁かれる。裁きを免れる人は、一人もいない。
- 一人でも多くの人が、福音を信じて救われるための、“猶予期間”が、今の時代!!

イエスが来られる前か、あなたが死ぬ前に、福音を信じなさい、ということ!!



★ イスラエルの歩み ★

【千年王国】

黙示録

メシア再臨

【大患難時代】

異邦人の時

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

ダビデ契約

【カナン定着・士師時代】

土地の契約

【荒野の四〇年】

モーセ契約

【エジプト奴隷の四〇〇年】

出エジプト 前1290

【族長時代】

アブラハム契約

【黙示録について】

■ 著者は、十二使徒の一人、ヨハネ。

■ AD95年頃、流刑先のエーゲ海のパトモス島で記述。

➡ 主イエスの十字架と復活から、約65年後。

(「使徒の働き」のラストから35年後)

➡ ローマ帝国の迫害が強まり、多くの殉教者も。

2世代目のクリスチャンが主流に。

■ 目的 ... 迫害に直面している信者の励まし

① 終末の希望をもって迫害を耐え忍ぶ。

② 終わりの日に、悪は必ず裁かれ、

主イエスが王の王となって、世界を統治する。

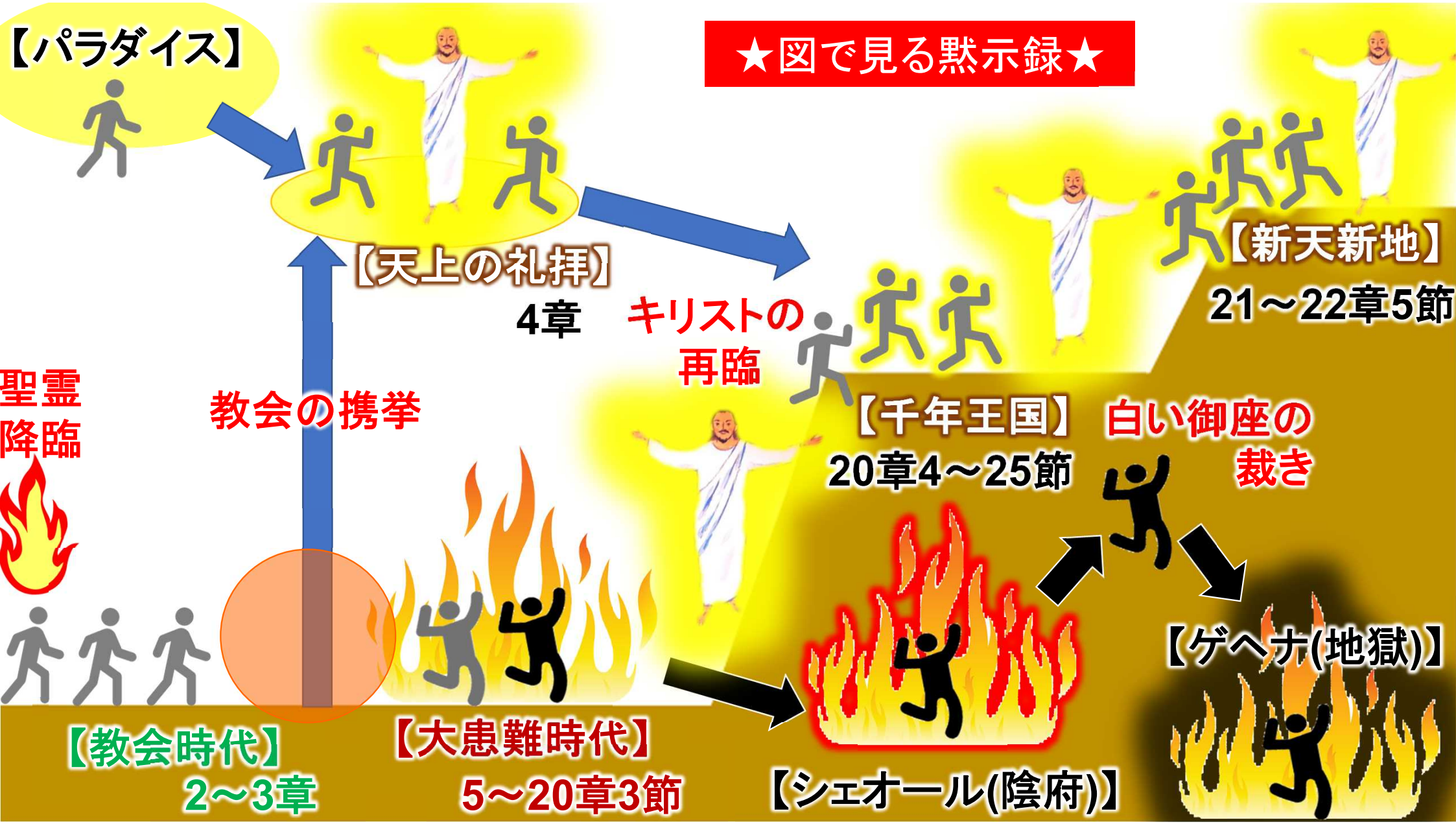
主の将来の約束が、今を生きる力になる!! それが終末的希望



黙示録アウトライン

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	5章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節

★図で見る黙示録★



I. 教会の携挙



【教会の携挙(空中再臨)とは?!】

① 教会が、天のイエスのもとに挙げられること。

② この教会とは、会堂ではなく、地域教会でもなく、普遍的教会・真の信者のこと。

- ある瞬間、地上にいる、すべての真の信者が、突然、天のイエスのもとに生きたまま挙げられる。すでにパラダイスに召されている信者も共に。復活の体を与えられ、イエスのもとへ集められる。



黙示録にみる携挙の根拠

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代(7年間)に起こること キリストの再臨	5章～20:3
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20:4～25
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21:1～22:5
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22:6～21

一度も出てこない！
教会という言葉が

イスラエルの祭りとメシアの生涯に見る携拳の根拠

	祭りの名称	レビ記	月	日	太陽暦	メシアの生涯
春の祭り	①過越の祭り	23:5	第一の月 (ニサン)	14日	3~4月	受難
	②種なしパンの祭り (除酵祭)	23:6~8	第一の月	15~21日	3~4月	贖罪
	③初穂の祭り	23:10~14	第一の月	除酵祭の 安息日翌日	3~4月	復活
	④五旬節の祭り (ペンテコステ)	23:15~21	第三の月 (シワン)	初穂祭の 50日後	5~6月	聖霊降臨
夏期	中間期	23:22				世界宣教 (教会時代)
秋の祭り	⑤ラツパの祭り	23:24~25	第七の月 (ティシュリ)	第一日目 (新月の日)	9~10月	携拳
	⑥贖罪の日 (ヨムキプール)	23:27~32	第七の月	10日	9~10月	大艱難時代
	⑦仮庵の祭り	23:34~43	第七の月	15日	9~10月	千年王国

初臨のメシアで実現！

再臨のメシアで
実現！

【イエスの約束】 ヨハネ14:1~3

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。
神を信じ、またわたしを信じなさい。

14:2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに
言っておいたでしょう。あなたがたのために、
わたしは場所を備えに行くのです。

14:3 わたしが行って、あなたがたに場所を
備えたら、また来て、あなたがたをわたしの
もとに迎えます。わたしのいる所に、あなた
がたをもおらせるためです。」

- ➡イエスは、一度、信者を迎えに戻ってくる。
イエスが、世を裁くために来る、「再臨」とは別!!



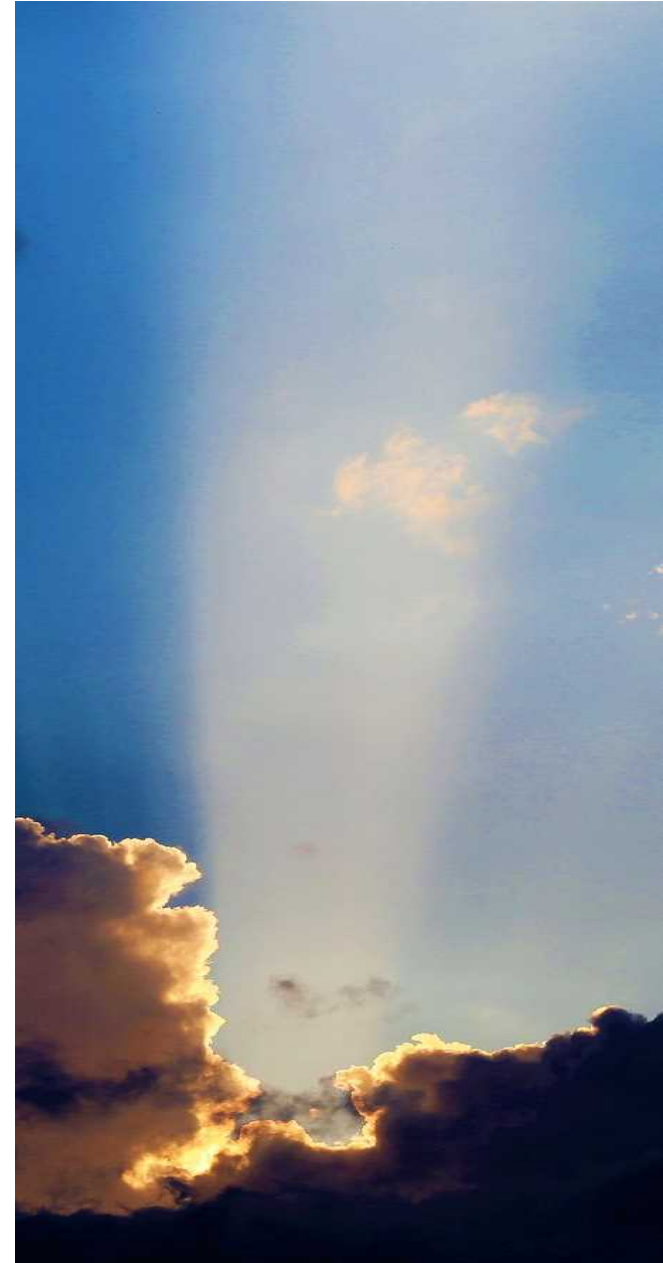
【携拳とは？】 I コリ 15:50～52

15:50 兄弟たちよ。私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。

15:51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。

15:52 終わりのラツパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラツパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

■ある時、突然、天に挙げられ、
復活の体に変えられる。



【パウロの補足説明】 I テサ 4:16～17

「4:16 主は、②号令と、③御使いのかしらの声と、④神のラツパの響きのうちに、①ご自身天から下って来られます。それから⑤キリストにある死者が、まず初めによみがえり、4:17 次に、⑥生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、⑦いつまでも主とともにいることになります。」

※迫害で中断されたテサロニケでの伝道を補完するために、携挙について補足説明を行っている。



【携挙の7つのステップ】 I テサ 4:16~17

- ① 空中再臨 ...主イエスご自身が、天から下って来る
- ② 号令 ...総司令官である主の命令が告げられる。
- ③ 御使いのかしらの声 ...天使長ミカエルの復唱
- ④ 神のラツパの響きのうちに ...招集ラツパになる。
- ⑤ キリストにある死者が、まず初めによみがえり、
...すでに召されている教会時代の信者が先に。
- ⑥ 地上の真の信者が、雲の中に一挙に引き上げられ*、
...「ハルパゾー(引き上げる)、rapture」、携挙の語源。
- ⑦ 空中で主と会う。いつまでも主とともにいる。
...携挙された信者は、天上の礼拝に加わっていく。



【栄光の体】 I コリ15:42~49

15:42 死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないもの*によみがえらされ、

15:43 卑しいもので蒔かれ、栄光あるもの*によみがえらされ、弱いもので蒔かれ、強いもの*によみがえらされ、

15:44 血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだ*によみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだ*もあるのです。

15:49 私たちは土で造られた者のかたちを持っていたように、天上のかたち*をも持つのです。

➡天の物質でできた、天の体(復活の体)*を与えられる。



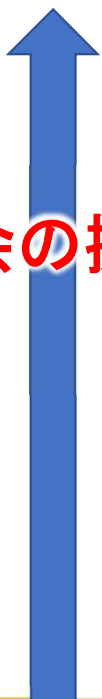
【パラダイス】



聖霊
降臨



教会の携挙



【教会時代】
2~3章



Ⅱ. キリストの御座の裁き



【キリストの御座の裁きとは？】

Ⅱコリ 5:10 私たちはみな、善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座*の前に現れなければならないのです。

*キリストの御座の裁き ➡すべての信者が受ける裁き

ロマ 8:1 こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

■この裁きは、信者を罪に定めるものではない。

➡信者になって以降の歩みから、報酬を定めるもの!!



【キリストの御座の裁きのタイミング】 黙示録19:8

「花嫁*は、輝くきよい亜麻布*をまとふことが許された。
その亜麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。」

* **花嫁** ...携挙された信者たちのこと

* **亜麻布** ...裁きが終わり、清められている状態。

■ 再臨前に、聖徒たちの裁きと婚姻は終わっている!!

■ 信者たちは、天上の礼拝で、白い衣を着ている。

➡携挙後、キリストの御座の裁きは行われている。



【キリストの御座の裁きの結果】 I コリ3:10~15

私は、自分に与えられた神の恵みによって、賢い建築家のように土台を据えました。ほかの人がその上に家を建てるのです。しかし、どのように建てるかは、それぞれが注意しなければなりません。だれも、すでに据えられている土台以外の物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。

だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てると、それぞれの働きは明らかになります。「その日」がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。

だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。

【キリストの御座の裁きの結果】 I コリ3:10～15

■ 信者は、キリストへの信仰を土台に、生活する。

➡ 信仰生活の結果が、主によって吟味される。

➡ 御心に叶う行い、実りだけが残る。

■ 御心に叶う実りが残った者は、
それに応じて報いを受ける。

■ 御心に叶う実りが残らなかった者は、
火事で焼け出された者のように天に入れられる。

■ 神の民とされていること、
清められた白い衣は、変わらない。



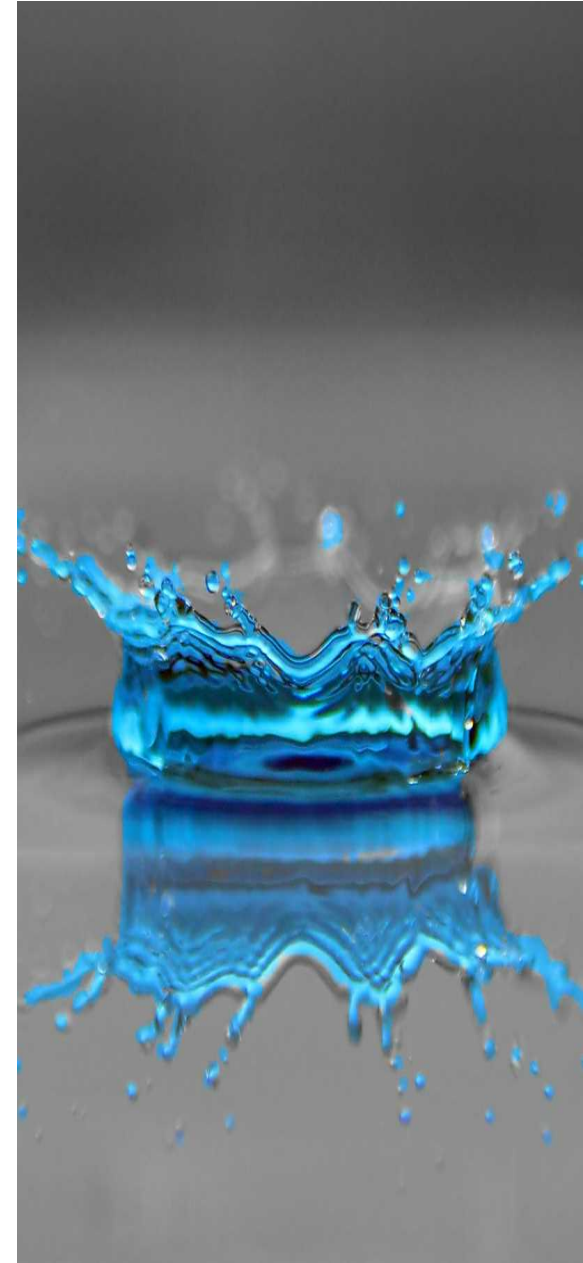
【信者に授けられる勝利者の冠】

■信者には、勝利者の冠(ステファノス)が贈与。

Ⅱテモ4:7~8 私は勇敢に戦い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。あとは、義の**栄冠**が私のために用意されているだけです。その日には、正しいさばき主である主が、それを私に授けてくださいます。私だけでなく、主の現れを慕い求めている人には、だれにでも授けてくださるのです。

■すべての信者に冠が与えられる。

➡それぞれに、種類は違うかもしれない。



【パラダイス】



キリストの
御座の裁き

聖霊
降臨



教会の携挙



【教会時代】
2~3章





Ⅲ. キリストとの婚姻

【ユダヤ式婚礼】

①花婿の父が式を準備、花嫁の父に花嫁料を支払う。



②婚約。最低1年は準備期間。



③花婿が花嫁を迎えに行く。



④花嫁を新居に迎え入れ、婚礼(結婚式)が行われる。



⑤結婚式の後、婚宴が開かれる。

【キリストと教会の結婚式】

① 父なる神が御子のために**花嫁料**を支払われた。

➡ **花嫁料とは、主イエスの十字架の血潮**

エペソ5:25～27 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。

キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。



【キリストと教会の結婚式】

②長い婚約期間が経過した。



③花婿キリストが、花嫁・教会を迎えに来られる。

Iテサ4:16~17 すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。

そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。



【キリストと教会の結婚式】

④ 携挙後、天で婚礼の儀式が執り行われる。

黙19:6~8 また私は、大群衆の声のような、大水のどろきのような、激しい雷鳴のようなものがこう言うのを聞いた。「ハレルヤ。私たちの神である主、全能者が王となられた。私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時に来て、花嫁は用意ができたのだから。花嫁は、輝くきよい亜麻布をまとうことが許された。その亜麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。」



⑤ 婚宴は、再臨後、地上で行われる。



【パラダイス】



キリストの御座の裁き

キリストと教会の婚礼

そして、天上の礼拝が始まっていく!!

教会の携挙

聖霊降臨



【教会時代】
2~3章



IV. 天上の礼拝

黙示録4～5章

【栄光の主イエスの御座】 黙4:1～3

その後、私は見た。すると見よ、開かれた門が天にあった。そして、ラツパのような音*で私に語りかけるのが聞こえた、あの最初の声*が言った。「ここに上れ。この後必ず起こること*を、あなたに示そう。」

4:2 たちまち私は御霊に捕らえられた。すると見よ。天に御座があり、その御座に着いている方がおられた。

4:3 その方は碧玉や赤めのうのように見え、御座の周りには、エメラルドのように見える虹があった。

* 主イエスの呼びかけ。(黙1:10)

* この後 ...教会の携挙の後



【24人の長老たち】 黙4:4～5

また、御座の周りには二十四の座があった。これらの座には、白い衣をまとい、頭に金の冠をかぶった二十四人の長老たち*が座っていた。

4:5 御座からは稲妻がひらめき、声と雷鳴がとどろいていた。御座の前では、火のついた七つのともしびが燃えていた。神の七つの御霊である。

* 24人の長老たち ...携挙された教会を示す。

イスラエルなら12。24は、ダビデが分けた祭司の組。

➡福音を信じた、すべての信仰者は、神の祭司。



【四体の天使・セラフィム】 黙4:6～8

御座の前は、水晶に似た、ガラスの海のようにであった。
そして、御座のあたり、御座の周りに、前もうしろも目で満ちた
四つの生き物がいた。

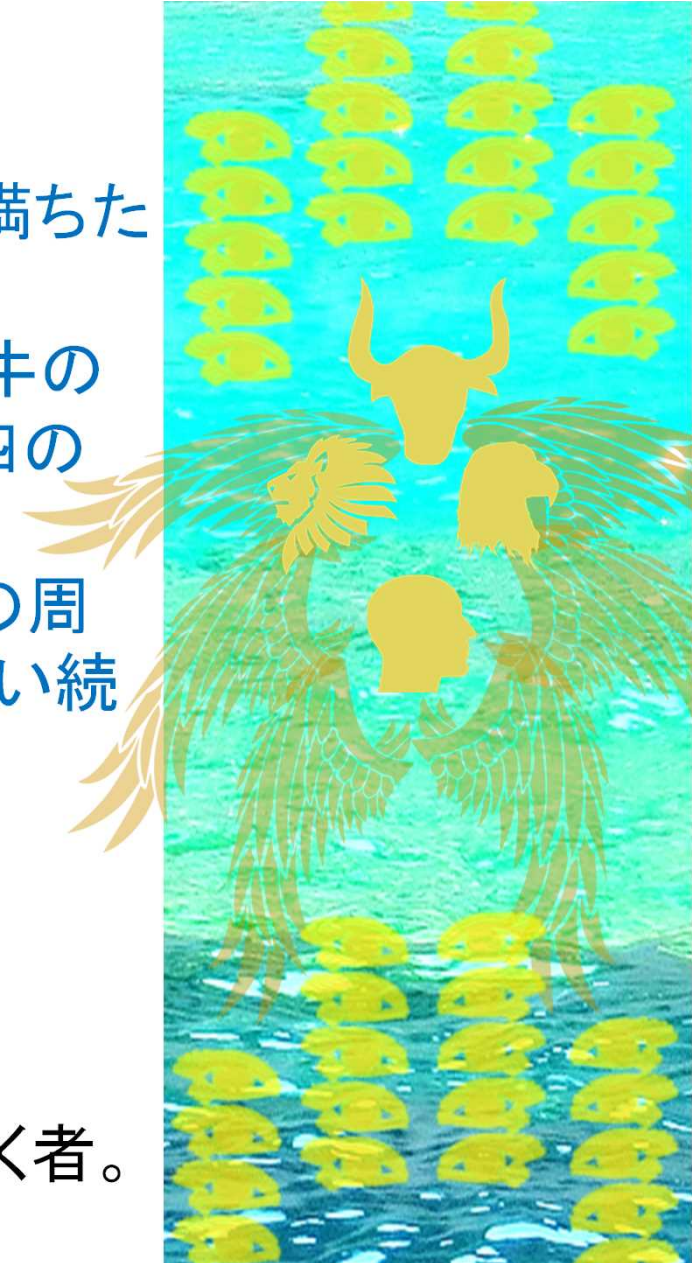
第一の生き物は獅子のようであり、第二の生き物は雄牛の
ようであり、第三の生き物は人間のような顔を持ち、第四の
生き物は飛んでいる鷲のようであった。

この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その周
りと内側は目で満ちていた。そして、昼も夜も休みなく言い続
けていた。「聖なる、聖なる、聖なる、主なる神、全能者。
昔おられ、今もおられ、やがて来られる方。」

■ **セラフィム(燃えている者たち)** ...イザヤ6章にも。

ケルビム(最高位の天使)にも似ている ...エゼ10章

➡主の御座の周りで常に神を礼拝し、天の礼拝を導く者。



【創造主への賛歌】 黙4:9～11

また、これらの生き物が栄光と誉れと感謝を、御座に着いて世々限りなく生きておられる方にささげるとき、二十四人の長老たちは、御座に着いておられる方の前にひれ伏して、世々限りなく生きておられる方を礼拝した。また、自分たちの冠*を御座の前に投げ出して言った。「主よ、私たちの神よ。あなたこそ栄光と誉れと力を受けるにふさわしい方。あなたが万物を創造されました。みこころのゆえに、それらは存在し、また創造されたのです。」

* **冠** ...ステパノス。勝者の冠。殉教者ステパノと同じ語。



【巻物と七つの封印】 黙5:1～4

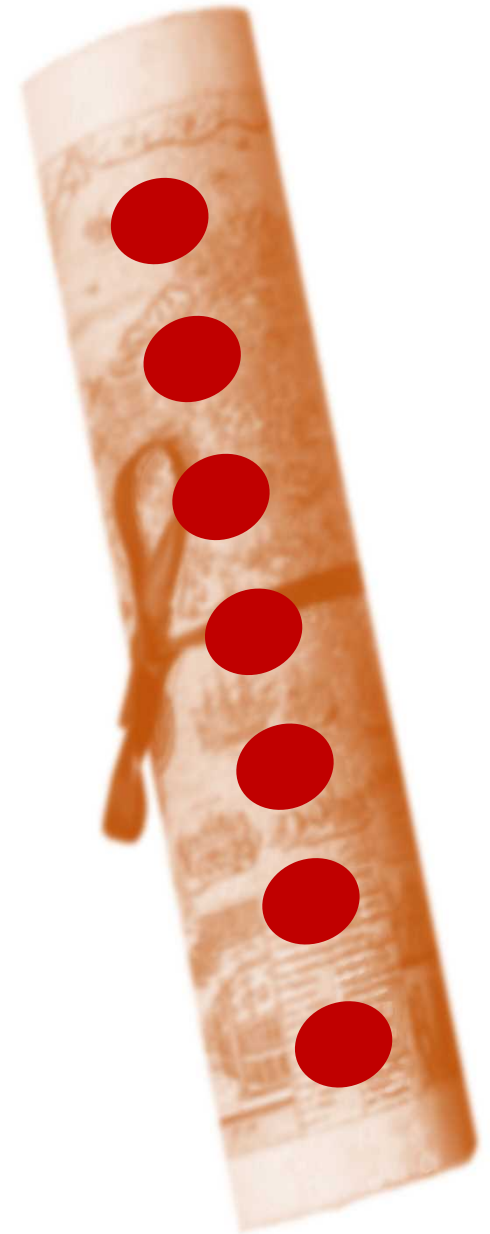
また私は、御座に着いておられる方の右の手に**巻物**を見た。それは内側にも外側にも字が書かれていて、七つの封印で封じられていた。

5:2 また私は、一人の強い御使いが「**巻物**を開き、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と大声で告げているのを見た。

5:3 しかし、天でも地でも地の下でも、だれ一人その**巻物**を開くことのできる者、見ることのできる者はいなかった。

5:4 私は激しく泣いた。その**巻物**を開くにも、見るにも、ふさわしい者がだれも見つからなかったからである。

* **巻物** ...地上に、神の裁きをもたらず巻物。



【勝利者なる主イエス】 黙5:5～7

すると、長老の一人が私に言った。「泣いてはいけません。ご覧なさい。ユダ族から出た獅子、ダビデの根*が勝利したので、彼がその巻物を開き、七つの封印を解くことができます。」

また私は、御座と四つの生き物の真ん中、長老たちの真ん中に、屠られた姿で子羊*が立っているのを見た。それは七つの角*と七つの目を持っていた。その目は、全地に遣わされた神の七つの御霊であった。

5:7 子羊*は来て、御座に着いておられる方の右の手から巻物を受け取った。

* 十字架にかけられ、死に勝利し、復活した主イエス。

* 角 ...神の力、権威を表す。



【新しい歌】 黙5:8～10

巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老たちは子羊の前にひれ伏した。彼らはそれぞれ、豎琴と、香に満ちた金の鉢を持っていた。香は聖徒たちの祈り*であった。

5:9 彼らは新しい歌*を歌った。「あなたは、巻物を受け取り、封印を解くのにふさわしい方です。あなたは屠られて、すべての部族、言語、民族、国民の中から、あなたの血によって人々を神のために贖い、

5:10 私たちの神のために、彼らを王国とし、祭司とされました。彼らは地を治めるのです。」

* 幕屋、神殿でも、香は神への祈りを示すものだった。

* 新しい歌 ... 来たるべき神の国で献げられる賛美。




【頌栄】 黙5:11

また私は見た。そして御座と生き物と長老たちの周りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の数万倍、千の数千倍であった。5:12 彼らは大声で言った。「屠られた子羊は、力と富と知恵と勢いと誉れと栄光と賛美を受けるにふさわしい方です。」

5:13 また私は、天と地と地の下と海にいるすべての造られたもの、それらの中にあるすべてのものがこう言うのを聞いた。「御座に着いておられる方と子羊に、賛美と誉れと栄光と力が世々限りなくあるように。」

5:14 すると、四つの生き物は「アーメン」と言い、長老たちはひれ伏して礼拝した。



父なる神とキリストを
聖霊によって賛美する
それが礼拝！

A dramatic landscape with a road leading towards a bright, cloudy sky at sunset or sunrise. The sky is filled with golden light and dark, heavy clouds. The road is a straight path that curves slightly to the right in the distance. The ground is dark and textured, possibly a field or a desert. The overall mood is one of hope and anticipation.

Ⅲ. まとめと適用

主の来られる日を待ち望みつつ
永遠の宝を天に積もう

【イエスの約束】 黙 3:10～11

あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時*には、あなたを守ろう。

わたしは、すぐに来る*。あなたの冠*をだれにも奪われないように、あなたの持っているものをしっかりと持っていなさい。

- * 大艱難時代から、教会(真の信者)は守られる。
- * 携拳は、いつ来るか分からない。
- * 福音を信じた者に与えられる勝利者の冠がある。



【報償の裁き・キリストの御座の裁き】 I コリ3:11～15

だれも、すでに据えられている土台以外の物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。

だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てると、それぞれの働きは明らかになります。「その日」がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。

* 救いは永遠。一方、報償は、クリスチャンの生き様による。



【報償の裁き・キリストの御座の裁き】

- 携挙の後、大患難時代の前に、信者のための裁きが行われる。(キリストの御座の裁き)
- 救いは確定している。これは、クリスチャンとしての生き方を判定する“報償のための裁き”。
- 勝利者としての冠をかぶせられ、
きよい衣を着せられ、
主イエスと共に、神の国を治める。
➡24人の長老は、信仰者の最高の模範。
- 天に続く礼拝を、今から捧げ続けるよう、求められている。



【教会とは？】

- ・福音を信じた者の集まり。一つのキリストの体。

【クリスチャンの使命とは？】

- ・教会の完成の時まで、福音を述べ伝えること。

【教会の完成の 때가、携挙】

- ・教会時代に救われるべき、最後の一人が救われたとき、真の信者の群れである一つの教会は、天に挙げられる。

【天で用意された報酬がある】

- ・信者には、地上での働きに応じた報酬が用意されている。



【私たちに求められていること】

- 福音を信じて、主イエスを人生に受け入れること。
- 御言葉を学び、主に忠実に仕え、福音を人々に伝えていくこと。
- その人は、たとえ、今受け入れなくても、大艱難時代に救われるかもしれない。
- 日本に、世界に、霊的大覚醒は必ず起こる。そのための種まきが求められている。
- 福音宣教の使命に遣わされて行こう
主をほめたたえ、賛美し、礼拝の喜びをもって!!



「天のお父さま。わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、
①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。
主(しゅ)イエスは、ふたたびこられ、信じる者すべてを
天(てん)に挙(あ)げ、来(きた)るべき裁(さば)きから
救(すく)ってくださいます。
教会(きょうかい)の完成(かんせい)のために、
わたしたちを遣(つか)わし、用(もち)いてください。
主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」

You Tube バイブルスタディ

★次回予告：10月13日(火) 午前10時より

(※基本的に、第2、4火曜日10時から!!)

第6回 「大患難時代・七つの封印の裁き」

★Zoomでの分かち合いのコーナーも!!

11時15分くらいから、分かち合いの時間を持ちます。

